

No. **4** 号
2018年9月号
(平成30年)

ひらつかの風

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

CONTENTS

- P.1 ……市民活動センター移転に伴う会議室予約の一部停止について
- P.2 ……団体レポート 吉沢地区自治会連合会
『湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会』
- P.3 ……お役立ち情報
- P.4 ……センター情報・平塚市情報

団体
レポート

吉沢地区自治会連合会 『湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会』



センター情報

市民活動センター移転に伴い、 会議室予約を一部停止します。



ひらつか市民活動センターは、平成31年4月1日より、現在建設中の崇善公民館・市民活動センター合築施設（見附町）へ移転します。

また、移転にあたり、平成31年3月下旬に現在の施設からの引っ越しをおこない、引っ越しの前後に数日間休館をさせていただきます。

引っ越しの日程が正式に決定するまで、次の期間の会議室予約を停止させていただきます。なお、引っ越しの日程が決定しましたら、必要な休館日以外の会議室

予約を再開します。予約再開の情報はセンターホームページでご案内いたします。

【会議室予約停止期間】

平成31年3月22日(金)～4月1日(月)の計11日間
※4月2日(火)以降の新施設の会議室予約は通常どおり受け付けます。

※新施設には、会議室が3室（32名、32名、24名定員）できる予定です。

ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

9月23日(日)はセンターまつりです。ぜひ皆さんでお出かけくださいね!!

団体
レポート

吉沢地区自治会連合会 『湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会』

平塚市まちづくり条例の認定団体で吉沢地区の活性化を目指す「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」は四者連携※のもと、自然を活かしたまちづくりを進めています。

※四者連携：本協議会、東京農業大学、平塚市、日本土地建物㈱

■活動の目的

「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」は、吉沢地区における農業の担い手の減少、高齢化、荒廃山林の増加等による里山環境悪化などの地域課題解決のため、吉沢地区自治会連合会の下部組織として平成19年10月、同連合会の役員を中心に設立されました。

■地道な活動の蓄積が活性化のカギ

協議会の具体的な活動の一つ、東京農業大学との協働・東海大学の協力によって開催するワークショップは、平成20年11月の第1回開催からこれまで34回(年3回程度)を数えています。また協議会では「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」において散策路整備・景観づくりを継続して実践、平成25年6月は平塚市より「美化推進モデル地区」の指定を受けました。

協議会は活動をはじめて11年、会員は143名(平成30年6月1日現在)。歴代の自治会長、現役の農業委員、自治会長・役員が中心となって活動を支えているそうです。役員会は2か月に一回程度開催され、その他地域活性化部会、自然活動部会等が適宜開催され、それぞれ活発に課題の解決に取り組んでいます。



自分で作った竹の水鉄砲で遊ぶ子どもたち

終了後の懇親会ではママの会スイカグループの皆さんが腕を振るった料理が所狭しと並び、参加した皆さんは、舌鼓を打ちながら交流を楽しんでいました。

■今後取り組んでみたいこと

取材にご協力いただいた秋山会長に、今後取り組んでみたいことを伺ってみました。「平成27年1月に、里地里山の保全・活用を図る取り組みの一環として「吉沢八景」を発表しました。今後は「吉沢八景」を多方面にアピールし地域の活性化につなげていくために、吉沢八景活用検討委員会を立ち上げ、地域の、地域による、地域のための情報発信をしていきたいと考えています。また、これまで開催してきたワークショップと、協議会が平成26年に策定した「吉沢地区の将来構想」をもとに、吉沢ならではの地域資源を活用した新しい取り組み(現在検討中)とを並行させて、吉沢の魅力をたくさんの方に発信し、まちの活性化に努めていきたいです。」

様々な組織や団体と連携しながら着実に地域の活性化を進めている協議会の皆さんの活動に目が離せません。



柵づくりのワークショップに参加する皆さん

人気のワークショップは、多いときで160名もの参加者があるとのこと(内訳:大学生が3割、地元住民が3割、地区外から4割)。ワークショップは環境整備、生物調査や里地里山を巡る散策、クラフトが主ですが、特に子どもたちには生物系に人気があり、過去の開催ではカブトムシの幼虫探しが大いに盛り上がったそうです。

取材に伺った日は、3つのメニュー(カントリーヘッジの補修、水辺の生き物の観察、竹のクラフト)で活動が行われました。真剣に活動に取り組む子どもたちのキラキラした瞳、子どもたちをサポートする学生さんや地域のみなさんの笑顔がとても印象的でした。

◎次回のワークショップのお知らせ

期日 ● 10月20日(土) 12:30~16:30

集合場所 ● 吉沢公民館(平塚市上吉沢395)

活動内容 ● A 菜の花の種まき

B 湿地復元に向けた草刈り

C 里山での調理体験

※活動後に懇親会があります

※雨天・荒天の際はクラフト等を実施する予定

参加費 ● 300円

応募方法 ● 10月12日(金)までに湘南ひらつか・ゆるぎ地区の活性化に向けた協議会へ

電話: 0463-58-4179

FAX: 0463-58-4326

お役立ち
情報 1

市民活動のお金の話 会費・寄附編

コピー代、チラシ印刷費、講師謝礼、交通費に人件費、市民活動って実はお金がかかります。支出があるなら、収入も必要ですね。今回は、『会費』と『寄附』について改めて考えてみましょう。

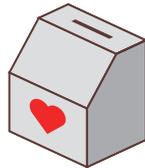
1 市民活動ならではの収入「会費と寄附」

株式会社など営利企業では、お客さんから代金をもらいますが、市民活動では、自然環境の保護や、お金に困っている方の支援など直接お客さんからお金をもらえない活動も多くあります。しかし、活動を行うには、色々とお金が必要です。

そこで、お客さん以外からお金を提供してもらうことが必要となります。団体のメンバー(会員)で提供し合うのが『会費』、会員に関わらず応援してくれる方から頂くのが『寄附』となります。

2 寄附の理由は「社会の役に立ちたい」

2017 寄附白書の調査では、45.4%の方が寄附をし、年間平均27,013円の寄附をしたというデータもあります。また、内閣府の調査では、寄附をした方の理由のトップは「社会の役に立ちたい」59.4%でした。



3 キーワードは『共感』と『信頼』

寄附をする方は、右脳(直観)から入り、まず活動への関心を持ち、次に左脳(論理)で信頼できるかを考えると言われています。

①共感『この活動を応援したい』

②信頼『この団体なら安心できる』

この2つのキーワードを意識して寄附をお願い(情報発信)していきましょう。

また、寄附をしてくれた人は、活動の応援者でもあります。再び寄附をしてくれたり、活動に参加してくれることもあります。寄附者へのお礼(感謝)は絶対に忘れてはいけません。

4 寄附で市民活動団体を応援してください！

まちのために頑張る市民活動団体を、ぜひ寄附で応援してください。市民活動センターのホームページで色々な市民活動団体を検索できます！

お役立ち
情報 2

市民活動のお金の話 助成金編

みなさんは事業を拡大したり、新しい事業を行ったりするときに、助成金を活用したことがありますか？助成金には公的な資金を活用したものや民間の助成制度などがあります。

ここでは助成金を申請する時のためのちょっとしたノウハウをご紹介します

1 「なぜ助成金が必要なのか？」を明確にしよう

助成金は、継続的に手に入るものではありません。この助成金を得たら、どんな事業をして、どんな効果があり、どんな課題解決につながるのかを具体的にし、なぜ助成金が必要なのかを団体の中で共有しましょう。

2 情報を集めて、応募要項をよく読もう

どんな助成金があるかを調べ、情報を入手しましょう。センターでは、HPやメルマガなどで適宜情報をお知らせしています。アンテナを張って、活動にあった分野やテーマにあった助成先をみつけてみましょう。

まずは、助成団体の応募要項をよく読み、助成の趣旨や理念を理解して、助成対象となる事業がどんな活動であるか、どの時期の活動に対する募集なのか読み解きましょう。



3 具体的な効果が示されていますか？

助成金申請には応募用紙の指定があり、その用紙を審査員がみて選考します。それぞれの項目に沿った内容が指示通りに記されていることがポイントです。助成金を受けたら具体的にどんな効果が見られるのか、ときには数字などを使ってはっきりと文章で表しましょう。

4 申請書を提出する前に再度確認しよう

① 記入漏れ・捺印漏れはありませんか？

② 金額の積算や費目は間違えていませんか？

③ 指定のフォントを使っていますか？

④ 必要な書類を用意しましたか？

⑤ 申請書類は必着か、消印有効か、電子メールでの応募は可能かどうか？等々...

また、助成元から問合せがきた時のことを想定し、申請書はコピーを取っておきましょう。

センターでは申請についての相談もお受けしています。お気軽にお問合せください。

センター情報

● 団体活動にお役立てください!

10月のコミュ☆カフェ & 10月~12月の市民活動応援講座をご案内します。

10月のコミュ☆カフェ「子ども食堂の課題とこれからの広がり」

全国的に広がっている子ども食堂。子どもの貧困や孤食を何とかしたいと始まった活動ですが、今では地域のニーズに合わせて様々な形で運営されています。子ども食堂について語り合いませんか?

日時●10月10日(水) 19:00~21:00 定員●20名 参加費●500円(資料代・お茶代)

ゲスト●横内子ども食堂(平塚市)、満福こども食堂(横浜市泉区)、みんなの食堂おおいそテーブル(大磯町)の皆さん



情報発信力向上セミナー「思わず目を引くNPOのための情報発信講座」

団体の活動を紹介したり仲間や協力者を増やしたい時、どんな方法で情報発信していますか? 情報発信は今やSNSが主流、特に写真や動画を上手に使うと効果大です。効果的な情報発信のコツを学んでみませんか?

日時●10月25日(木) 19:00~21:30 定員●30名 参加費●1,000円(資料代)

講師●市川 靖洋氏(株)ポンド デザイナー 関東学院大学非常勤講師



居心地のよい「場」の作り方講座

みんなが楽しく活動するための「場」づくりを学んでみませんか? 昨年も大好評だった「場」の作り方講座を今年も開催します。組織運営の基本ともいえる会議のやり方や仲間づくりのコツを学んで活動に活かしましょう。

2回連続講座

日時●(1)11月24日(土) 13:30~16:30 (2)12月8日(土) 13:30~16:30

定員●40名 参加費●2,000円(資料代) 講師●長田英史氏(NPO法人 れんげ舎 代表理事、合同会社ファロルモ代表)

新規登録団体

- 居場所『女性会 つむぐ』…さまざまな悩みを抱えた方々への居場所の提供
- 神奈川県社会保険労務士会年金研究会西湘ブロック…年金のことをわかりやすく説明します
- 平塚商工会議所青年部…次世代の地域経済を担う後継者の研鑽の場
- ひらつか生物多様性推進協議会…平塚市の生物多様性の維持・向上に努めます

平塚市情報

● 新しい提案が続々!

平成31年度に実施する提案型協働事業の公開プレゼンテーションを開催します。

今回から、採択上限1,000万円での募集や、人件費基準の見直しなど、制度改正があり、3件の新しい提案がありました。どんな事業が提案されたかは、公開プレゼンに参加して確認しましょう!

日時●10月6日(土) 14:00~15:30

場所●ひらつか市民活動センター会議室

提案●行政提案型協働事業2事業、市民提案型協働事業2事業の計4事業(うち新規提案3事業)

編集後記

平成30年7月の豪雨で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。(坂田)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00~22:00 年末年始を除く)

〒254-0811

神奈川県平塚市八重咲町 3-3 JAビルかながわ 2階

TEL●0463-21-7517 FAX●0463-22-3701

Eメール●info@hiratsuka-shimin.net

URL●http://hiratsuka-shimin.net

センター登録団体数(2018年8月30日現在)

登録団体数: 467 団体

(内訳 市民活動団体…347 団体、一般団体…120 団体)

